

## 2023 年春 学生企画実践型海外派遣プログラム 募集要項

### =重要=

・本プログラム参加にあたっては、必ず応募説明会（対面又は zoom）に参加し（参加できない場合は録画視聴すること）、家族・保証人及び指導教員に相談し、同意を得ること。

応募説明会:2022 年 10 月 12 日(水) 12:35-13:30 西 2 号館 W241 講義室

Zoom:<https://zoom.us/j/99929107485?pwd=OUF4V3JvQ242dkJIRWtzRTdMVWkrZz09>

\*引き続き超短期派遣夏報告会(13:45-14:15)を開催するので、できる限り参加すること。

- ・本プログラムで実施する学生派遣については、新型コロナウイルス感染症に対する本学の対応方針（10. 教職員・学生等の国外出張と私事渡航に関する方針 <https://www.titech.ac.jp/news/2020/046433>）に基づき、国の方針に沿って実施する。
- ・新型コロナウイルス感染拡大等の影響により、渡航が中止になる場合や、渡航開始後であっても本学の判断で途中帰国を指示する可能性がある。またその際に、自己負担のキャンセル料が発生することを了承の上、応募すること。
- ・以下の状況となった場合、渡航を中止する、また渡航期間或いは渡航先を変更することになる可能性がある。
  - (ア) 滞在（予定）地域が日本からの渡航者・日本人に対する入国制限措置及び入国・入域後の行動制限を発令した場合 [https://www.anzen.mofa.go.jp/covid19/pdfhistory\\_world.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/covid19/pdfhistory_world.html)
  - (イ) 本学が危険と判断した場合 <https://www.titech.ac.jp/student/students/health/coronavirus>
  - (ウ) 滞在（予定）地域の感染症危険情報レベルが3以上になった場合
  - (エ) 派遣先大学、機関等が受け入れを拒否した場合
- ・派遣国の日本国大使館で最新情報と、日本からの渡航者に対する各国・地域の入国制限措置及び入国・入域後の行動制限が記載されているので、大使館のHPを必ず確認すること。

### 【概要】

本プログラムはグローバル理工人育成コースの一環として実施されます。既定のプログラムではなく、学生により構成されたグループで、現地実働日数8日以上のプログラムを企画、準備し、学生のみで現地に渡航し、企画した活動を実践します。このプログラムを通して、高度な実践的能力を習得することを目指します。

選考後、仮採択されたグループは、事前準備を進め、その進捗状況から滞りなくプログラムが遂行できると判断されれば、本採択とします。本プログラムへの参加者を下記の通り募集致します。

\*具体例については、過去の報告書を参照のこと：2018年度 <http://www.ghrd.titech.ac.jp/world/designed2019/>

### 【プログラムの内容】

1. 学生により構成されたグループで企画・実施する事柄
    - 1) 調査計画に基づく情報収集、事前調査等
    - 2) 訪問先(※)の選定、依頼、交渉、アポイント取得
      - ※ 研究機関・教育機関を必ず含めること。その他、行政機関、企業、コミュニティ等
- 現地の活動：訪問インタビュー、インターンシップ、ボランティア、各種プロジェクト企画及び調査等、自由に設定可。異なる分野のメンバーで、幅広く捉えた1つの大きなテーマに取り組んでもよい。
- ・ スケジュール確定及び管理：派遣時期及び期間（後述参照）、毎日の活動スケジュール管理、宿泊・交通手配
  - ・ プログラム終了後、報告書を作成、報告会にて報告

## 2. グローバル人材育成推進支援室（以下、支援室）への報告について

- \* 事前準備の進捗や、現地での活動状況を支援室に適宜報告し、必要に応じて担当教員の指導を受けること。
- \* 安全性、教育的観点から、事前準備、活動、報告書作成について、必要に応じ支援室が支援を行うことがあります。

事前準備以下のような活動を指します。

- ・事前準備と現地派遣を含めた全体スケジュールを作成・管理
- ・アポイントの取得のために現地と連絡等
- ・事前の調査や情報収集等

## 3. 単位付与

「グローバル理工人海外研修 ID」または「グローバル理工人海外研修ベーシック ID」の単位が付与される。単位数、科目名の番号部分は、派遣期間によって決定されるが、現地実働日数 8 日以上に対して 1 単位が付与される。長期にわたる場合は、別途相談のこと。なお、判定は合否とする。

### 【応募資格】

- 1) 東工大正規課程学生(学士課程および修士課程の学生)。
- 2) グローバル理工人育成コースに所属し、国際意識醸成プログラム 2 単位以上を取得済の学生。
- 3) グローバル理工人育成コースに所属し以下の通りコース修了に向けた活動を行っている学生を優先する。
  - ① グローバル理工人育成コースの 4 つの教育プログラムの科目履修単位数が修了要件に近い。
  - ② ポートフォリオに必要事項（グローバル理工人育成コースの志望動機、所属時ルーブリックの入力（2 年次以下は必須））を記入している。
- 4) 現地で英語または渡航先国の言語でコミュニケーションする能力を有していること。

\* 他の派遣プログラムとの併願も可。

\* グローバル理工人育成コースの所属・修了等の詳細については、以下の URL を参照  
<http://www.ghrd.titech.ac.jp/>

### 【募集人数】

- 1) 3～5 名でグループを構成し応募する
- 2) 構成員が男女混合の場合には、それぞれ 2 名以上の構成とする（健康問題が生じた場合などに備え）。

### 【派遣時期及び期間】

- 1) 仮採択決定後から準備を開始し、本採択されれば、当該年度中（2023 年 3 月まで）の派遣とする。
- 2) 派遣時期：授業及び試験等と重複しないことを事前に確認の上、決定する。
- 3) 派遣期間：現地での実働を最短で 8 日以上とする。

### 【費用】

航空代金、宿泊費、現地での諸経費（交通費、食費、通信手段、その他活動経費）等、海外旅行保険料\*

\* 大学の指定する海外旅行保険に加入すること。

### 【奨学金支援】

企画内容や学業成績等、支給要件を満たす場合には、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の奨学金（日本国籍、もしくは日本への永住が許可されている学生の場合）、また、東京工業大学基金（国費留学生以外の留学生）の対象となる可能性がある。（派遣国・地域により 6～10 万円）詳細について確認したい場合には、支援室に確認すること。なお、学内規定により国費留学生には奨学金の支給はない。

支給の際の必要書類については、書類説明オリエンテーションで説明する。

### 【応募方法・提出書類】

- 1) 申込書（グループのメンバー各自提出要）
- 2) 以下を含む企画書（グループのメンバー全員で1つ作成，様式自由，和文または英文，A4用紙3ページ程度）
  - ・訪問国と調査トピックの内容（〇〇について，等。可能な限り具体的に）
  - ・訪問国とトピック選定の理由，活動の目的，背景等
  - ・具体的な活動内容（事前に調査すること，現地で調査すること等）
  - ・想定する訪問先とその概要，アポイント取得の方法（直接依頼か，伝手を頼る場合はその方の名前）
  - ・活動全体スケジュール  
（事前準備から報告・報告書作成までのおおよその日程，移動手段・宿泊先の確保，アポイントの取得等）
  - ・現地での訪問・調査スケジュール（訪問先，移動経路，滞在予定地など）
  - ・出国から入国までの全ての移動手段・宿泊先手配の方法，通信手段，安全面への配慮
  - ・各メンバーの役割分担（リーダー，その他必要と思われる役割）
  - ・事前準備の項目と準備のスケジュール

\*1) 2) を併せて，Taki Plaza BIF グローバル人材育成推進支援室窓口に直接提出すること。

\*応募に際しては，1) 申込書に指導教員，またはアカデミックアドバイザーの承認を必ず得ること。

\*留学生の参加については，渡航先のビザ取得期間等を確認の上，応募の可否を自身で判断すること。

### 【選考方法】

#### 書類審査及び面接審査

\*書類審査及び面接で仮採択したのち，以下のような事前準備の進捗状況から，滞りなく企画が遂行できると判断できれば，本採択とする。

- ・国内で可能な事前調査（必要に応じてインタビュー等），入手可能な情報の取得・整理状況
- ・訪問先選定及びコンタクトの状況
- ・渡航，滞在，移動等に関する下調べの状況

【応募締切】 2022年11月7日（月） 正午

【面接予定日】 2022年11月8日（火）～10日（木） 12:00-14:00 @大岡山キャンパス：対面

【事前・事後学習】（注：事前学習の日程は多少変更になる可能性があります。）

本プログラム参加者は，単位付与の一環として，下記の事前・事後学習への参加が義務付けられる。

- ・ 2022年11月16日（水）12:35-13:35 書類説明オリエンテーション（@W241）
- \*事前学習の前に海外安全オリエンテーション（録画）を必ず視聴すること。
- ・ 2022年12月～2023年2月：事前学習 3～5回（日程は別途通知）
- ・ 2023年1月11日（水）18:20 グローバル理工人育成コースシンポジウム（オンライン）
- ・ 2023年4～5月：成果発表会

### 【問合せ・申込書提出先】

グローバル人材育成推進支援室・留学情報館（Taki Plaza B1）（担当：村上，菊地）

電話：03-5734-3028 または 03-5734-3520 / e-mail: [ghrd.sien@jim.titech.ac.jp](mailto:ghrd.sien@jim.titech.ac.jp)

学業成績に関する、奨学金支給基準：

1. 日本国籍を有する者または日本への永住権のある者(独立行政法人日本学生支援機構 (JASSO) 国費以外の留学生 (東京工業大学基金))
2. 前年度の成績評価係数が2.30以上 (JASSO 規定の計算式に基づく) であること⇒学業成績書で確認する。  
下記の表により「成績評価ポイント」に換算し、計算式に当てはめて算出 (小数点第3位を四捨五入)

成績評価	100～80点	79～70点	69～60点	59点以下
成績評価ポイント	3	2	1	0

( 計算式 )

(「評価ポイント3の単位数」×3) + (「評価ポイント2の単位数」×2) + (「評価ポイント1の単位数」×1) + (「評価ポイント0の単位数」×0) / 総登録単位数

3. 派遣プログラム参加にあたり、他団体等から奨学金を受ける場合、他団体等からの奨学金の支給月額が本制度による支給金額を超えない者

(注)

1. 学士課程1・2年生の参加については、「グローバル理工人海外研修ベーシックID (1単位)」の単位が付与される。
2. 学士課程3年生及び4年生、また修士課程の学生の参加については、「グローバル理工人海外研修ID (1単位)」の単位が付与される。学士課程4年生の参加については、以下の条件を満たす必要がある。
  - 1) 当該海外派遣プログラムによる得られる単位の有無にかかわらず、卒業できる見込みがある。
  - 2) 卒業あるいは大学院進学認定に必要な手続きに支障を及ぼさない。
3. 上記にかかわらず、「グローバル理工人海外研修」等ではなく、所属学科の科目による単位付与が行われる場合がある。
4. 本プログラム参加にあたっては上記1～3に記載されているいずれかの科目を必ず履修すること。(本年度の取得単位数の上限を既に超えている学生は、別途問い合わせのこと。)
5. 帰国後、本学において単位付与出来ない場合には、奨学金を返納することになる。事前事後学習を含めたプログラム全体に主体的に参加すること。

**【問合せ先】**

グローバル人材育成推進支援室・留学情報館 (Taki Plaza B1F) メールボックス：TP-004

電話：03-5734-3520 または 03-5734-3028 / email: ghrd.sien@jim.titech.ac.jp